

【日本弁理士会 知財ビジネスアカデミー講座】

「SNS/動画配信を利用した弁理士/特許事務所のブランディングと情報発信力強化」

～SNS/動画配信の光と闇を理解しつつ、発信者の武器としての活用へ～

担当講師	【担当講師】 加島 広基（かしま ひろもと）IP Tech 弁理士法人 副所長 弁理士 岡村 太一（おかむら たいち）弁理士事務所ブランデザイン 代表弁理士
実施日程	2026年6月18日（木曜日）13:00-15:10
実施場所	弁理士会館（千代田区霞が関3-4-2）
受講料	会員 10,000 円、非会員 20,000 円（いずれも税込）
対象者	<ul style="list-style-type: none">●特許事務所の開業等において新規顧客（クライアント）の拡大を目指して、新しい取り組みを模索している方●SNS や動画配信のようなメディアを使って、知財専門家として自己や事務所のブランディングを行うことに関心がある方●SNS や動画配信による情報発信の実例や、情報発信を行う際の注意点を学びたい方
概要 ねらい	<p>従来より、新規顧客拡大の主要なルートの一つは、業界内外の知人の紹介であると言われてい ます。このため、勉強会や異業種交流会等に積極的に参加することにより、自己や所属する特許事務所 が認識される機会を増やす努力をされている方が多いのではないかと思います。</p> <p>その際、オフラインの勉強会等に参加するだけでなく、SNS や動画配信のようなオンラインの手 段によっても何か実現できないかを、検討したり、始めてみようか悩んでいる方もいらっしゃるの ではないでしょうか。</p> <p>本講座の準備に当たり、単に SNS や動画配信を行うことで、簡単に顧客拡大に成功した例を探し てみましたが、現実には、それほど甘いものではないことがわかりました。</p> <p>そこで本講座では、弁理士/特許事務所が認識される機会の拡大に取り組まれている実務家を講師 として迎え、実際に SNS や動画配信によって自己のブランディングや情報発信を行っている実例 や、その際の注意点を学び、ゆくゆくは、新規顧客拡大につなげるためのノウハウ・ヒントを得るこ とを目指します。</p>
到達目標	・ SNS や動画配信によるブランディングや情報発信の実例を知り、その実践に必要な知識や注意 点を習得する

<p>形式及び内容</p> <p>(予定)</p>	<p>【前半】弁理士/特許事務所が行う SNS の戦略的活用法 講師：加島 広基氏 (概要) 本講義では、SNS を知財専門家にとっての新たなブランディング／プロモーションツールと位置づけ、自己ブランディングの構築から独立開業も見据えたリアル社会への還元まで、戦略的な活用法を解説します。また、SNS 活用で陥りがちな承認欲求の暴走がもたらす他者への攻撃や他者にとって不快な自慢話の投稿といった SNS の闇にも触れます。弁理士としての社会的信用を毀損しないためのリスク管理の重要性を学び、健全で効果的な自己/事務所のブランディングの確立を目指します。</p> <p>(目次)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人生の経営戦略における社会資本構築のための SNS 活用 2. SNS で獲得した知名度をリアル社会に還元するには？ 3. SNS 活用を独立開業につなげるために 4. SNS 活用の光と闇 <p>【後半】弁理士/特許事務所が動画配信によって構築するブランディング 講師：岡村 太一氏 (概要) 本講義では、動画配信による弁理士のブランディングのために、目的、手法、心構え、成果等についてお伝えします。講師自身の配信と他の知財専門の配信とを比較し、様々な手法から受講生が自身のブランディングに最適な動画配信を検討する一助になることを目指します。また、動画とそれ以外の媒体との関係性についても解説します。</p> <p>(目次)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 弁理士のブランディングのためになぜ動画が良いか 2. 目的により変わる媒体、内容、頻度、長さ、編集等 3. YouTube や Podcast の手法と特徴 4. X (旧 : Twitter) や Facebook での告知や有料広告により、動画をどう広げるか
<p>参考書籍</p>	<p>『ふわっとしたアイデアからはじめる 新規事業を成功させる知財活用法』 (中央経済社, 2024 年, 加島 広基 著)</p> <p>『ロゴとネーミングの法律—事業を守る商標のしくみ』 (中央経済社, 2025 年, 岡村 太一/西川 康一 著)</p>

講師
略歴

◆加島 広基氏

1999年東京大学工学部卒業、2004年弁理士登録。2021年に日本橋知的財産総合事務所を設立。2025年5月にIPTech弁理士法人に合流、現職に至る。

弁理士法人IPXの押谷昌宗弁理士と共同でYouTubeにて「知財実務オンライン」の配信を毎週行っており、知財コンテンツの情報発信や専門家コミュニティの形成に努める。

特許庁のI-OPEN PROJECTやIPAS事業に参画し、イノベーションを起こそうとする企業を知財面から支援。

近年はスタートアップ・ベンチャー企業等のIT・ソフトウェア系の特許出願業務や知財コンサル業務を精力的に行っており、2024年3月には数多くのITスタートアップ支援実績が評価され特許庁第5回IP BASE AWARDスタートアップ支援者部門の奨励賞を受賞した。

著書に「ふわっとしたアイデアからはじめる新規事業を成功させる知財活用法（中央経済社,2024年）」等がある。



◆岡村 太一氏

2009年関西大学法学部法律学科卒業、2009年大槻国際特許事務所入所、2010年弁理士登録、2014年志賀国際特許事務所入所。2020年弁理士事務所ブランデザインを設立、現職に至る。

弁理士業を行う傍ら、大学院での非常勤講師の他、週刊誌からの取材にて商標解説、イベント「AI vs 弁理士」で総合優勝する等、様々な媒体に露出し、ロゴ、ネーミング及びデザインを守る弁理士として活動中。

YouTube・Podcast番組「ゆるカワの商標ラジオ」を運営し、企画、出演及び編集を手掛ける。同番組をベースにした書籍『ロゴとネーミングの法律—事業を守る商標のしくみ』を執筆。



注意事項

本講座は、日本弁理士会の「継続研修」の単位認定対象講座です。(2単位)

◆お申込みについて

- ・ 申込期限：2026年4月30日（木）正午
- ・ 申込方法：次の申込フォームからお申込みください。受講可否については、申込期限後、メールでご連絡します。

▶申し込みフォーム

<https://form.run/@jpaa-ipba>

◆ご注意ください

- ・ お申込みにあたっては、**受講規約を事前にご確認ください。**
- ・ お申込みをもって、規約内容に同意したものとみなされます

▶受講規約（PDF）

<https://www.jpaa.or.jp/cms/wp-content/uploads/2026/04/2026kiyaku01.pdf>